

1 2022年3月期 中間期の連結業績 (2021年4月1日～2021年9月30日)

(百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する中間純利益 |
|------------|--------|-------|-------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2021年9月中間期 | 51,148 | 4,026 | 4,346 | 2,668 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|------------|---------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2021年9月中間期 | 124,017 | 70,855 | 55.2 |

(注) 連結子会社は17社

2 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | |
|----|---------|-------|-------|-----|-------|------|-----------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 通期 | 113,000 | △11.8 | 9,500 | 1.1 | 9,700 | △2.6 | 5,700 | △1.3 |

※ 上記の予想は本資料の作成日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

3 当中間期における事業の概況および下期の見通し

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進み、感染者数の減少が見られましたが、第6波への懸念もあり依然として予断を許さない状況にあります。

当社グループが属する建設業界におきましては、公共工事の発注が堅調に推移しており、民間企業の投資に改善傾向が見られるものの、鋼材価格や燃料費が高騰していることもあり、今後の動向を注視していく必要があります。

こうした中、当社グループは収益構造の改善、生産性の向上に注力してまいりました。その結果、中間連結会計期間の連結業績は、売上高511億48百万円、営業利益40億26百万円、経常利益43億46百万円、親会社株主に帰属する中間純利益26億68百万円となりました。

当下半期の見通しとしましては、先行き不透明な状況に変わりはないこと、並びに新収益認識基準の影響もあり、売上高1,130億円、営業利益95億円、経常利益97億円、親会社株式に帰属する当期純利益57億円を見込んでおります。

以上